

2019年度 北海道支社環境行動計画

北海道支社環境委員会

【各部局共通の課題】

1. 省エネ・地球温暖化対策

北海道支社の社屋、道内各支局の使用する電力、ガス、灯油については節減に努め、省エネを図り、CO₂の削減を目指します。

〈目標〉

支社の電力使用量を前年度よりも削減し、CO₂削減に努めます。

〈具体策〉

- ①空調設定温度をこまめに調整します。特に、冬期間の暖房については適温を心がけます。
- ②クールビズとともに、冬場の暖房を適温とするためのウォームビズを推進します。
- ③時間外空調を減らします。
- ④会議室では終了時の消灯を徹底します。
- ⑤当番勤務等で平日以外に出社の際は部分照明を心がけます。
- ⑥OA機器の省電力設定の活用の徹底を図ります。
- ⑦蛍光灯、テレビなど家電製品を交換する場合は、省エネタイプを購入します。

2. 紙の節減

各部門は回章や書類保存の電子化に努め、日常業務のペーパーレス化を推進します。

〈目標〉

プリント、コピー用紙の購入量の把握に努め、前年度の実績を下回るよう努力します。

〈具体策〉

- ①紙資料を必要以上に使う会議の削減。
- ②資料の電子化・共用化を推進します。
- ③電子メール利用で紙回章類を減らします。
- ④コピーやプリントは両面印刷にします。
- ⑤必要数以上のコピーはとらないようにします。
- ⑥使用済み用紙の裏面をメモ用紙などに再利用します。
- ⑦再生可能な紙とそうでないものとの分別を適切に行います。

3. 一般廃棄物(一般ごみ)対策

〈目標〉

さっぽろ創世スクエアの規則に従って分別回収を行い、再資源化できるもの(紙、段ボール類)の量を増やし、一般ごみの量を減らします。

〈具体策〉

- ①分別収集のさらなる周知徹底を行います。
- ②分別により、一般ごみを減らします。また、排出量の多い新聞古紙、雑誌等はビルのゴミ回収ルートには乗せず、独自に処理業者と直接契約を結び、再資源化、有価物とします。

4. グリーン購入

資材調達の際は、グリーン購入の「社内基準」に基づいて調達します。

【部局別の課題】

1. 環境保全に関する社会啓発

環境保全や循環型社会づくりに向けたテーマを積極的に取り上げていきます。(編集)

広告掲載という形で各企業の環境に関する情報発信に貢献するよう努めます。(メディアビジネス)

2. 支社移転

移転後のさっぽろ創世スクエアではまだごみ分別、照明制御等の運用が定まっておらず、また、年間を通した空調制御などは今後の課題となりますが、常に環境に配慮した設定を行い、従業員にわかりやすい説明を心がけます。(管理)

3. 読者配布物品

読者に対する挨拶品などはできるだけ環境に配慮したものにします。(販売)

4. 運輸業務の環境保全対策

運輸業務について、次の施策を行います。(管理)

①アイドリングストップなどエコドライブの推奨。

②宅送りの相乗り促進。

【計画の進め方】

1. 推進体制

(1) 北海道支社長は環境行動計画推進を統括し、環境委員会を委員長として主宰します。

(2) 環境委員会は、北海道支社の行動計画の策定・実行・監視・見直しを行います。

(3) 各部門の環境委員および実務責任者は、その部内で環境行動計画について周知させ、計画を推進します。

2. 計画の対象

(1) 支社及び支局とします。ただし、支局は該当項目のみ。

(2) 管理部は不動産業務室と連携して、札幌ANビルのテナントに対して環境対策の協力を求めます。

以上